



株式会社ゆで太郎システム 御中

ゆで太郎夢基金による寄付金充当報告
(令和元年度寄付金 20,111,657円)

<累計寄付総額 81,955,730円>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

寄せられた寄付金 累計20,111,657円(令和元年度)

法人名	寄付日	寄付額(円)
株式会社ゆで太郎システム	平成31年4月12日	1,696,389
株式会社ゆで太郎システム	令和元年5月9日	1,647,970
株式会社ゆで太郎システム	令和元年6月7日	1,690,849
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和元年6月20日	34,266
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	令和元年6月27日	389,915
サントリービバレッジサービス株式会社	令和元年6月28日	43,562
株式会社ゆで太郎システム	令和元年7月9日	1,599,231
株式会社ゆで太郎システム	令和元年8月7日	1,657,193
株式会社ゆで太郎システム	令和元年9月6日	1,670,156
株式会社ゆで太郎システム	令和元年10月10日	1,587,720
株式会社ゆで太郎システム	令和元年11月8日	1,547,904
株式会社ゆで太郎システム	令和元年12月10日	1,537,046
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和元年12月20日	40,182
セイブショウジ株式会社	令和元年12月27日	5,355
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	令和元年12月30日	384,709
サントリービバレッジサービス株式会社	令和元年12月30日	49,014
株式会社ゆで太郎システム	令和2年1月14日	1,640,531
株式会社ゆで太郎システム	令和2年2月13日	1,417,794
株式会社ゆで太郎システム	令和2年3月11日	1,471,871

令和元年度 ゆで太郎夢基金から寄せられた寄付金の充当事業

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応 (台風第15号・19号等)	8,102,857円
	②医療チーム[救護班]の養成	3,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	3,000,000円
青少年赤十字事業	④教育現場での防災教育の普及	4,000,000円
社会福祉事業	⑤社会福祉施設の資機材整備	2,008,800円
合 計		20,111,657円

各充当事業の内容は、次ページ以降をご参照ください。

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

① 災害対応(台風第15号・19号等)

相次ぐ国内の台風災害に対して、本社災害対策本部の指揮の下、医療チーム等を現地に派遣して被災された方の救護にあたるとともに、救援物資のマッチング調整・配布、義援金の受付等による支援を行いました。



台風第15号災害救護に参集した救護班(千葉県)



台風第19号被災者の患者搬送(長野県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

② 医療チーム[救護班]の養成

多発する国内の災害救護にあたる一方で、継続的に医療チーム[救護班]を養成するために研修会を開催して、要員を育成しました。



災害救護の机上演習



診療の実習

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

③ 地域防災セミナーの開催

災害が起こった後だけでなく、起こる前の防災・減災にも注力すべく、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災セミナーを全国で開催しました。



「自助」「共助」の大切さを学ぶ



地元の地図を用いて被災のイメージを構築

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 青少年赤十字事業

④教育現場での防災教育の普及

日本赤十字社が提供した防災教材を、学校教育と組み合わせることで、防災意識の定着を図り、身近で災害が発生した際にすぐに活かせるスキルや考え方を伝えて参りました。



学校の授業で防災を学ぶ生徒



日赤が開発した防災教材を使う幼稚園児

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 社会福祉事業

⑤ 社会福祉施設の資機材整備

日本赤十字社総合福祉センター(通称:レクロス)の資機材を整備するために使わせていただきました。車椅子、リクライニング車椅子を整備させていただきました。

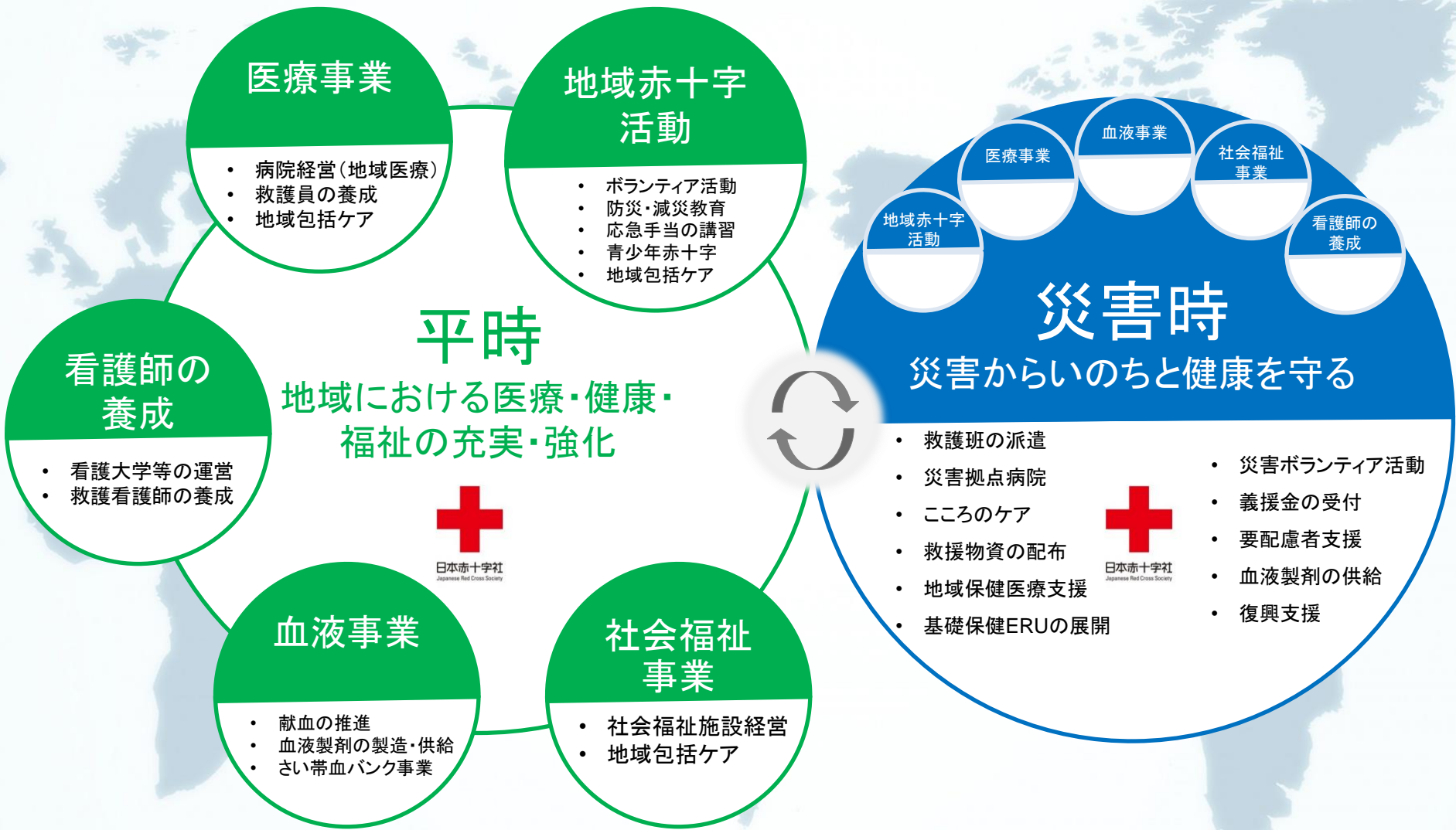


肘掛けやフットサポートが容易に開閉できスムーズに移乗することができます。

令和2年度 充当計画(案)

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	6,000,000円
	②医療チーム[救護班]の養成	4,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	4,000,000円
青少年赤十字事業	④教育現場での防災教育の普及	2,000,000円
社会福祉事業	⑤社会福祉施設の資機材整備	2,000,000円
合 計		18,000,000円

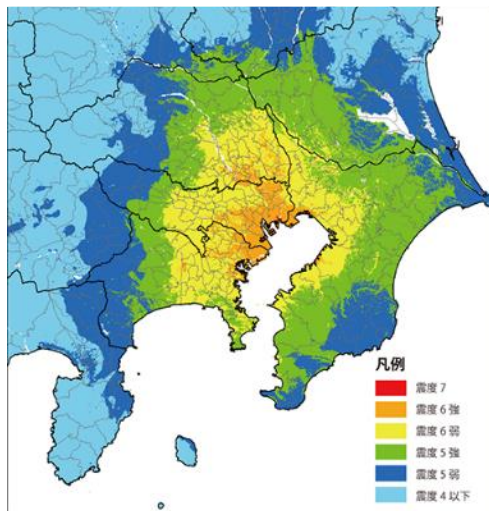
日本赤十字社の事業の全体像



- 自然災害の頻発化・激甚化・広域化
- 今後30年以内の発生確率が70～80%と切迫する
首都直下地震や南海トラフ地震等
- 社会形態の変化に伴う地域コミュニティの衰退

⇒ ニーズに応じて迅速な災害対応
また、そのための備え、防災教育（地域コミュニティーや教育現場）

首都直下地震



東京、神奈川、
千葉、埼玉
など

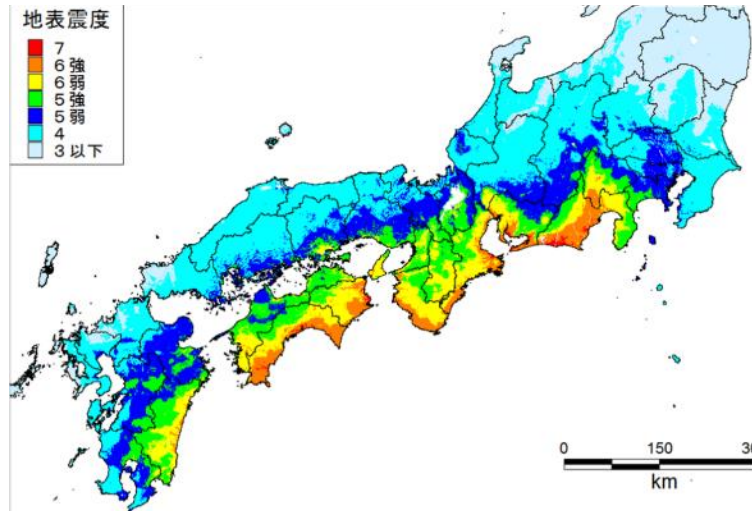
死者数

約2万3千人

避難者数

約720万人

南海トラフ地震



静岡、愛知、
三重、和歌山、
高知 など

死者数

約32万3千人

避難者数

約500万人

出所：内閣府(防災担当)ホームページより日本赤十字社作成(数値は予測される最大値)

レクロスは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、障害者支援施設及び各種在宅サービスを展開する複合的な福祉施設です。

⇒一人ひとりの状態と目標に応じて細やかな支援サービスを提供

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

日本赤十字社の使命

私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの基本理念

赤十字の基本原則である「人道」の精神にのっとり、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの運営基本方針

- [1] 一人ひとりを大切にし、利用者の視点に立った安心・安全なサービスを提供します。
- [2] 家族・地域社会との連携を図り、地域福祉の向上に努めます。
- [3] 保健、医療、看護、福祉の各種サービスの一体的な提供に努めます。

「レクロス広尾」は、「赤十字」の英訳である Red Cross (レッドクロス) を略して、Re(レ)とCross(クロス)で「レクロス」となりました。
(レ)は再建、(クロス)は「お役に立ちたい」という意味を含んでいます。

